

上南だより

第421号

2024.9.1 発行

岡山市立上南公民館

〒704-8166 岡山市東区君津636

TEL&Fax 948-3352

H P <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000010910.html>E-mail jounankouminkan@city.okayama.lg.jpFacebook <http://www.facebook.com/JounanKouminkan/>

H P



Facebook

主催講座のご案内

「文学のまち上南」をめざして文学に親しんでみませんか。
* 申込不要の講座以外は、締切日までに申込みをしてください。

あっ晴れ！もも太郎体操「若返会」

ほとんど椅子に座っての約50分の体操です。地域のみなさんと一緒に続けてみませんか。いつからでも参加できます。

実施日 毎週金曜日の9時30分～

9月6日、13日、20日、27日

10月4日、11日、18日、25日

持ち物 動きやすい服装、水分補給用の飲み物

※申込不要。初回のみ参加票に記入していただきます。

場所

1階ロビー

公民館カフェ (9月・10月)

日時 9月6日(金) 10:00～12:00の間

10月4日(金) 10:00～12:00の間

内容 お好きな時間にお越しいただき、ゆったりおしゃべりなどしながらお過ごしください。

お茶代 100円(コーヒー、紅茶、お茶など)

おかわり自由・一口チョコつき

場所

小会議室

上南シネマ 倉敷市児島を舞台に、12歳の少年 隼人が幼馴染の病氣回復を願って自転車で児島八十八カ所霊場を巡る感動的な物語です。

「ちやりへん♪」誰かのために何かできますか？

当日、監督・脚本の桑田浩一さんが作品を語ってくれます。

日時 9月30日(月) 13:30～15:20

作品 2022年 日本

出演 西山隼人、青木ありあ他

監督 桑田浩一

定員 30人 〆切 9月29日(日)

地域の絆や人々の温かさが描かれた本作は、上南の沖新田八十八カ所納札所巡りに通じるものがあり、地域の魅力を再発見する機会となることと思います。

パソコン相談&学習ルーム

パソコンに関する相談にボランティアが対応します。

日時 9月12日(木) 13:30～15:00

受講料 無料 申込 不要

講師 パソコンサークル上南

持ち物 筆記用具、ご自身のノートパソコン(出来る限り)

※相談について、ボランティアでも対応しかなる場合があります。ご了承ください。

上南いきいき教室

どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 9月17日(火) 14:00～16:00

内容 物忘れが気になる方の認知症予防講座

講師 岡山市ふれあい介護予防センター

対象 おおむね65歳以上の岡山市民

持ち物 筆記用具、水分補給ができるもの

申込 不要

発達障害についての学習・情報交換と交流の場所 オレンジクローバーの会

日時 9月28日(土) 18:30～20:30

内容 年金・就労について(夜の学習会です)

対象 どなたでも 定員 20人

参加費 無料 持ち物 筆記用具、飲み物

〆切 9月27日(金)

※詳細はチラシをご覧ください。

上南高齢者大学「在宅医療・介護と人生会議のすすめ」

日時 10月10日(木) 10:00～12:00

講師 岡山市医療政策推進課地域ケア総合推進センター

定員 30人 参加費 無料

申込 10月8日(火)

地域行事の写真 7月27日(土) 政田学区夏祭り



8月3日(土) 開成学区 夏祭り



上南公民館だよりは毎月発行しており、各町内会長様のご厚意で上南地区全戸に配布していただいています。いつもご協力をありがとうございます。

上南地域づくり会議からのお知らせ

9月は認知症月間です

国際アルツハイマー病協会により、毎年9月21日を『世界アルツハイマーデー』と制定し、世界各国で認知症の理解を深める活動が行われています。

岡山市ふれあい公社では、認知症を正しく理解し誰もが安心して暮らせる地域づくりを考える活動として9月は『認知症を知る月間』とし、特設コーナーを設けます。

■テーマは『わたしを忘れてもいいよ』～でも、私はずっとずっと覚えているよ～

期間:令和6年9/1(日)～9/30(月)

場所:西大寺ふれあいセンター(岡山市東区西大寺中2丁目16番33号)

内容:認知症関係の本・情報・パネル展示等 ぜひ、お立ち寄りください。

■オレンジクロスプロジェクト参加者募集中!

岡山市地域包括支援センターでオレンジクロスプロジェクトに取り組んでいます。

認知症になっても好きなこと、得意なことをして活躍したい!という気持ちを大切に縫い物が好きな認知症当事者の方はオレンジの糸を使用したぞうきん作りを通してまだまだ出来るを応援します。タオルを集める、使う、作る、認知症について学ぶ、伝える…できるところから参加してみませんか?完成したオレンジクロスは小学校などに寄贈する予定です。タオル寄付にどうぞご協力よろしくお願ひします!

西大寺ふれあいセンター1階に回収箱設置しています。



岡山市地域包括支援センター
認知症担当キャラクターサポくま



ほうほう

世界アルツハイマー月間特別企画 サポくまフェスティバル in岡山ふれあいセンター

令和6年9月8日(日)10:00～14:00 子どもから大人まで、楽しみながら認知症について学べます!

「上南☆地域未来塾」(7/20)



夏休み中、地域の先生OBが、小中学生の自主学習の支援をしてくださっています。今年は、ボランティアの中学生にも指導の補助をお願いしました。しっかり学習したあとは、論語かるたで盛り上がりました。

「みんなあつまれ!古い豪邸迷路の肝試し」(7/30)



E-joyメンバー以外の中学生ボランティアも一緒に、2日かけて肝試しの準備をしました。今年は古い洋館をイメージして怖い雰囲気づくり...

本番は、おばけ役や受付など役割分担して、小学生に怖がってもらうために工夫しました。

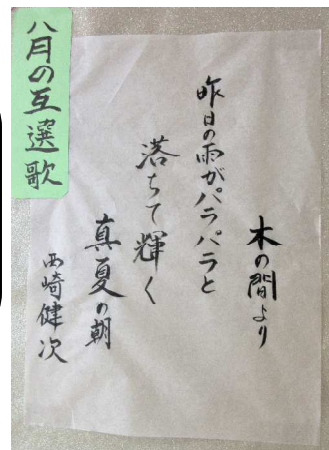


写真でみる
Kouminkan

文学のまち上南

クラブ作品紹介「短歌」クラブ

小学生向けの夏休み講座では、中学生ボランティアが大活躍でした!!



毎月クラブ生の作品から選ばれた歌を清書し公民館ロビーに貼っています。八月の作品をご紹介します。

「みんなあつまれ!そうめん流し&七夕!!」(7/27)



中学生ボランティアE-joyメンバーが企画し、金田明生会のみなさんに教えてもらいながらそうめん流しをしました。小学生はおいしいと言ってたくさん食べてくれました。

休館日:毎週水曜日と祝日(9月4日、11日、16日、18日、22日、25日)

開館時間:(平日)9:30～21:00 (日曜)9:30～17:00

地域担当レポート

9月1日は『防災の日』です



今年の元旦に発生した能登半島地震から8か月が経とうとしています。今でもたびたび報道される「災害関連死」について能登半島地震のケースを調べてみました。

災害関連死とは、災害による直接の被害ではなく、避難途中や、避難後に死亡した者の死因について、災害との因果関係が認められるものをいいます。災害関連死では、呼吸器疾患（肺炎や気管支炎など）、循環器疾患（脳卒中など）の2つが全体の6割を占めます。

水分摂取を控えることで高まるリスク…

避難所となる体育館などで、もっとも深刻なのがトイレ問題です。トイレの衛生環境が劣悪になることにより、さまざまな体調不良につながります。

- 口腔内の細菌が増えることによる誤嚥性肺炎
- 食欲低下や微熱を招くほか、腎機能悪化
- エコノミークラス症候群（肺梗塞）
- 膀胱炎など尿路感染症
- 糖尿病の人は血糖値が著しく上がって意識障害を起こす

持病の悪化…

偏った食事や避難所での雑魚寝で、肺炎のリスクが高まったり、栄養の不足や偏りが原因で高血圧が進行したりすることがあります。まず高血圧や糖尿病などの持病がある人は、持病の薬を飲み続けることが大切だとしています。

感染症が拡大…

能登半島地震では、一時避難先（小学校や中学校など）で、新型コロナウイルスなどの感染症が流行しました。

能登半島地震では、災害関連死を防ぐには、被災地外への避難（2次避難）が不可欠とされましたが「故郷を離れたくない」「自宅が心配」などの理由で進まず、地震発生から3週目で死者232人のうち14名の災害関連死が確認されました。（1/22山陽新聞の記事から）

災害関連死を防ぐために日頃からお願いしたいこと

- 地域で良好な関係を築いておく…避難所などから自宅に戻っても気にかけてくれる人がいるということは、災害関連死防止にとっても有効です。
- 避難行動要支援者名簿に登録しておく…公助や共助も受けやすくなりますし、支援が整った場所への移動の調整がしやすくなります。
- 二次避難や福祉避難所のことを知っておく…避難所は十分な備えがあるとはいえません。必要な物資の準備はもちろんですが、福祉避難所や二次避難について知っておくとよいと思います。

写真でみる
Kouminkan

石田伸子 作品展

8月6日～8月20日



小さな折紙で鶴を折る方で、ご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ほかにも絵手紙や色鉛筆画など、たくさんの作品で来館した方々を楽しませていただきました。



上南今昔絵図第2版～沖新田八十八カ所札所巡り～

「政田の祇園様(ぎおんさま)ー 沼名前神社(ぬなくまじんじゃ)についてー」

先月号では開成学区の「おぎおんさま」について取り上げましたので、今回は政田学区に江戸時代から伝わる祇園祭の紹介をします。

政田学区には、君津地区と政津地区にそれぞれ沼名前神社という名の神社があります。

君津の沼名前神社は現在でも「鞆の祇園様(とものぎおんさま)とも呼ばれ、江戸時代から明治にかけて、疫病(えきびょう=はやり病)が流行した際に、広島県福山市の鞆の浦(とものうら)の有名な沼名前神社から分社されたものです。

このように鞆の浦の祇園神社から分社されたところは、中国地方の瀬戸内海沿いに9社が確認されているそうです(鞆の浦歴史民俗資料館の資料による)。

なぜ、瀬戸内海周辺に集中しているかを調査していくうちに、岡山県ではそこが大規模な干拓が行われた地であることが分かりました。そのため、井戸も掘れず、川の水を飲料水として利用するしかなかったため、江戸時代後期から明治時代にかけてコレラなどの流行病に苦しんだ土地柄(とちがら)が見えてきました。

その昔、君津の沼名前神社のご神体(しんたい)は、鞆の浦から海路船で運ばれ、現在の東区横樋(よこひ)に着き、江川をさかのぼって現在の地に鎮座(ちんざ)したと伝わっています。

夏祭りのときには、約400kgのお神輿(みこし)を氏子(うじこ)がかついで横樋まで進み、横樋の氏子によってご祈祷(きとう)されたあと、帰りは江川の中に神輿を入れて数回水中で回転させてから土手屋(どてや)まで綱で引きながら進み、そのあと陸路で元のお宮まで帰っていきます。

当時の沖新田の人々にとって、川の水は命をつなぐ大切なものでしたから、神聖なお神輿を川に入れることは、川の水を浄化し、疫病を退散させるという願いに通じていました。



NH氏提供 2018年7月8日撮影

他に類を見ないこの君津の沼名前神社の夏祭りを通じて、今を生きる私たちも、当時の祖先の苦難の歴史に思いをいたし、この土地をこれからも大切に守っていくという気持ちを子どもたちにもぜひ伝えていきたいと思っています。

文：「上南歴史を伝える会」奥山玲子

上南公民館は開館50周年を迎えました。

地域の皆様のご支援で上南公民館は今年8月1日に開館50周年を迎えました。

記念日は、横断幕除幕、記念講演を行いました。これからもより多くの方の利用を期待するとともに上南地区の文化振興の充実と発展を図っていきます。

今後とも上南公民館を地域の学習交流の場としてよりしく願います。

